

# 新<sup>しん</sup> 緑<sup>みどり</sup> ニュース



病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271  
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



## 頭を打った後の注意点

脳神経外科

海老原 研一

はじめまして。本年4月より横浜新緑総合病院に赴任しました海老原研一です。私は医学部医学科卒業後、10年近く福島県立医科大学附属病院の救命センターや、市中病院脳神経外科での診療に従事して参りました。その間、脳卒中だけでなく外傷の患者さまの診療にも携わってきましたが、交通事故、工作中的の事故、近所の路上での転倒、庭木の剪定中に墜落など、日常生活での予期せぬアクシデントによって頭などを強く打撲し、中には手術するほどの深刻な外傷と診断される患者さまも経験してきました。そこで今回は、頭部を打撲した後の注意点などについて簡易ながら解説いたします。



いた方が乗用車と衝突した・轢かれたり、車同士の事故で特に同乗者・運転者が車外に放り出されたり、車が原型を留めないほど破壊されたりした場合などでも、体の多部位に激しい損傷を受けたことが懸念されるので必ず救急車を呼ぶようにして下さい。



### 頭を打った患者さまが受診された際に医療従事者が注意していること

救急外来受診時、医療従事者などと会話ができるくらい意識が保たれていても、そのような患者さまのうち約10%で意識障害が悪化して緊急手術が必要となることがあります。脳の浮腫や血腫が増大することで急激に重症化することが原因とされており、特に60歳以上の高齢者や、心臓血管系疾患や脳卒中といった既往症のために抗血栓薬を服用されている方でリスクが高いとされています。また、飲酒や薬物内服の影響で意識がはっきりしない患者さまの場合、それが頭部外傷の影響なのか、或いはアルコールや薬物の影響なのか断定が困難なので注意が必要です。

従って、ここまで述べた症状や条件に該当する患者さまに対しては、頭部CTなどの画像検査も行なって外傷の有無を確認する必要があります。また、頭部CT検査で異常が見られなかったとしても、こうした患者さまに対しては最短でも約24時間程度の経過観察入院を強く勧めております。

### 頭を打った後に119番通報する目安

まず頭部を打撲した、もしくはそう疑われる場合、次のような症状があるならば躊躇せず119番へ通報して救急車を呼ぶ必要があります。

- 声を掛けても目を開けない・声を出さない、或いはうめき声や意味の分からないことを言っている
- 上肢を強く伸ばしたまま、或いは 強く曲げたままの姿勢
- 痙攣している
- 麻痺がある
- 強い頭痛や嘔吐・吐き気がある
- 何があったのか覚えていない
- 自分の名前や所在地・今日の日付など簡単な質問に返答ができない

また、言うまでもないかと思われませんが、屋根の上など高所からの墜落や、歩行者ないし自転車・バイクを運転されて

### 参考文献

- 『改訂第6版 救急診療指針 上巻』日本救急医学会監修、へるす出版、2024年  
『改訂第6版 外傷初期診療ガイドラインJATEC』日本外傷学会・日本救急医学会監修、へるす出版、2021年

WEB版みんなの健康講座 9月配信予定

※オンライン配信

### 変形性膝関節症の予防と治療 (仮)

整形外科 医長 佐々木 崇博



## 7月入職 新任医師ご挨拶

### 《脳神経外科 部長》 豎月 順也（たてづき じゅんや）

はじめまして。2024年7月より、当院脳神経外科に入職しました豎月順也と申します。これまで横浜市立大学および関連施設にて、脳神経外科の診療にあたってきました。脳神経外科疾患のなかでも、脳血管障害に対する開頭手術と脳血管内治療を専門としています。患者さまの状態によって、開頭手術と脳血管内治療のどちらが最適かを判断し、患者さまのご希望に寄り添いながら診療を行ってまいります。なにとぞよろしくお願いいたします。

＜専門＞ 脳血管障害・脳卒中、脳血管内治療

＜資格＞ 日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医  
日本脳卒中学会専門医、脳卒中の外科学会技術認定医



### 「第8回地域との連携の会」を開催

入退院支援室・医療相談室

7/3（水）近隣ケアマネジャーさま、訪問看護師さまを対象に「第8回地域との連携の会」を開催致しました。約3年ぶりに集合形式で開催しましたところ、約50名の方にご参加頂き活発な意見交換を行うことが出来ました。

今回はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）や間質性肺炎などの呼吸器疾患をお持ちの方の緩和ケアをテーマに「慢性呼吸器疾患のエンドオブライフに光を」と題して、堀地副院長より講話を行いました。

慢性呼吸器疾患は、体の中に酸素を取り込む力が弱くなり、息苦しさを感ずることが多くなります。そのため治療に加え生活上のサポートやリハビリが重要となる疾患です。

実際にご自宅で患者さまの生活の支援をされている方々と情報共有や意見交換ができ、大変有意義な連携の会となりました。今後も患者さまの療養生活を支援するため、地域の皆さまと密に連携を図ってまいります。



### 第11回セコム提携病院医師事務作業補助部会

医事課 係長 関野 嘉子

この度、7月2日に第11回セコム提携病院医師事務作業補助部会が開催されました。今回は「DX」がテーマであり、当院が会場として選ばれました。

当院では主に問診と検査説明のDXを進めています。問診は、一部診療科でタブレットやスマートフォンから質問に回答するシステムを導入しております。検査説明は、大腸内視鏡検査の説明を動画で視聴でき、LINEに登録することで検査前にお知らせが来るシステムを活用しております。導入方法やオペレーションを説明し、実際に使ってもらいました。DXはどの病院でも課題であり、「参考になった」との声を多数いただきました。今後も年2回の部会を通じて他院の取り組みを知り、業務改善等を目指していきたいと考えております。



### 7月より無料送迎バス（いぶき野経由長津田線）午後運休中

皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが当面の間「無料送迎バスいぶき野線」の午後運行を休止しています。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

運休路線：いぶき野経由長津田線

運休開始：2024年7月1日（月）より

運休時間：病院発13：10より運休（最終病院発12：40）

■長津田駅方面にはみなみ台経由長津田線が終日運行しております。

